

プロカメラ ユーザーマニュアル

プロカメラで瞬間を取らせてください! プロカメラ3.5は、iPhoneおよびiPod Touch用のパワフルな多機能カメラ アプリです。写真やビデオを撮影し、アプリ内ですぐに簡単にレビューや編集ができます。プロカメラ3.5の機能と特徴の概要を下に示します:

カメラ モジュール:

カメラ モジュールはプロカメラの心臓部です。即座によりすぐれた写真を撮影するためのツールに簡単にアクセスできるようにデザインされています。

半透明のヘッドアップ ディスプレイから、**Flash/Torch** (フラッシュ/トーチ) コントローラ、(前面カメラ付きのデバイスで) **前面・背面カメラ** スイッチ、(上級者モードで) **ホワイトバランス** コントロールに簡単にアクセスできます。

常時点灯: iPhone 4と4Sに対応している「常時点灯」機能を使うと、薄暗い場所やまったくの暗闇でも写真を撮影できます。常時点灯は、デジタル フラッシュが光る前に、被写体に照明を当てることができます。この機能によって、周囲が真っ暗でも、画像の光のレベルを完全にコントロールできます。常時点灯は、iPhoneのデジタル懐中電灯モードを利用しています。オンスクリーンのフラッシュ コントローラで、[Steady Light (常時点灯)] コントロールをタップすると、フラッシュ設定に無関係にオン・オフを切り替えられます。必要に応じて、常時点灯を好きなだけオンに保つことも可能です。

フォーカスと露出: Normal (標準) 撮影モードでフォーカスと露出をロックするには、画面上の希望の位置でタップしてホールドします。ビューファインダーの中央でタップしホールドして、自動モードに切り替えます。上級者モードでは、露出の黄色い円または青いフォーカス ボックスを画面上の好きな場所にドラッグして、フォーカスと露出を独立に設定することもできます。ビューファインダーの中央でタップしホールドして、自動モードに切り替えます。円とボックスの中心にあるターゲットマークが脈動して、カメラのアクティビティ (フォーカスや露出を調整中のとき) を示します。フォーカスと露出を個別に設定すると、デバイスを動かしてもこれらの調整が変わりません。

ホワイトバランスロック: 上級者モードでは、画面上のホワイト バランス ロックが有効になります。このツールを使って、周囲の光に適合するように、特定の色温度を設定し、ロックします。

「白い紙」を使ってホワイトバランスをロックする方法: ホワイトバランスを自動 (AWB) にしたまま、カメラを鮮明な白い紙に向け、ホワイトバランスをロックしま

す。デバイスをいろいろな方向に向けてみて、画面上で気に入った色温度が得られたらすぐにタップしてホワイトバランスをロックする方法もあります。

6倍フル解像度ズーム：プロカメラのフル解像度ズームは、ズームで拡大した写真の品質を自動的に向上します。画像はデバイスの最高解像度になるように、再度サンプリングされます。ズームインやズームアウトするには、（2本の指で）ピンチするか、ズームスライダーを使います。ズームスライダーは、シャッターボタンの近くにあるビューファインダー内に隠れています。ピンチズーム操作を行うか、シャッターボタンのすぐ上の見えないズームスライダー部分をスライドするか、スライダー右端の「見えない」ズームイン（+）ボタンを押すと、ズームスライダーが表示されます。現在の倍率が画面にライブで表示されます。高い倍率のズームを使う場合、プロカメラの手ブレ防止機能も併用することをお勧めします。ズーム中は、iPhoneのわずかな動きもブレの原因となります。

メインコントロールバー：これには、デバイスの写真アルバム、アプリのPro Studioモジュール、アプリの【**Settings（設定）**】へのショートカットを提供する【**PRO（プロ）**】ボタンが含まれます。新しい**Photo/Video Toggle（写真/ビデオ切り替え）**は、カメラ、ビデオ、QR Codeカメラの間で切り替えます。メインシャッターボタンは、コントロールバーの中央にあります。メインシャッターボタンの右側に、【**手ブレ防止/セルフタイマー**】シャッターボタンがあります。右端の【**Pro Settings（プロ設定）**】メニューで、オンスクリーンの構図ガイド、仮想水平軸、写真コンパスをオンやオフにできます。上級者モードとセルフタイマーモードのオン・オフも簡単に切り替えられます。

ビデオモードでは、右端の【**Pro Settings（プロ設定）**】メニューで、オンスクリーンの構図ガイド、仮想水平軸、写真コンパスをオンやオフにできます。上級者モードをオンやオフに切り替えることができ、さらに、アップロード速度を上げたり、デバイスのディスクスペースを節約するためにビデオファイルのサイズを小さくしたい場合に、数種類のビデオ解像度の間で切り替えることができます。

プロカメラ3.5には次が含まれます：

- iPhone 4、iPhone 4S、iPad2、iPodでは、最大1時間のビデオ録画（iPhone 3GSでは2時間）
- iPhone 4SでのフルHDビデオ録画

QR Reader Mode（QRリーダーモード）では、半透明のヘッドアップディスプレイから**Torch（トーチ）**コントローラに簡単にアクセスできます。QRをブラケットの間にそろえてください。カメラは、自動的にQRコードを読み取ります。いったんスキ

ヤンすると、URLをMobile Safariで自動的に開いたり、クリップボードにコピーして他のアプリにペーストしたり、コードをシェアしたり、コードの内容に応じて提供される文脈依存オプション（vCard をアドレス帳に追加するなど）を使用することなどができます。

手ブレ防止モード: 手ブレ防止機能は、プロカメラが安定するまでシャッター操作を遅らせます。これによって、より鮮明でシャープな写真を撮影できます。シャッターボタン右側の手ブレ防止ボタンをタップすると、プロカメラはiPhoneが安定するまで待ってから写真を撮影します。カメラの動きは、シャッター ボタンのすぐ上の小さいアイコンに表示されます。

セルフ タイマー (0.5秒~20秒) : 右のメニューから [セルフタイマー] をアクティブにします。セルフタイマーを使って写真を撮るには、メイン シャッター ボタン右側のボタンを押します (アイコンが、手ブレ防止からカウントダウンしている時計に変わります。) カウントダウンが始まります。3回のビープ音が最後の秒を示します。タイマーの時間間隔は、プロカメラの設定メニューから調整できます。

タイマーを最低の0.5秒に設定すると、別の方法としての手ブレ防止キャプチャともなります。手ブレ防止モードの代替となるので、これを**Smart Trigger (スマート トリガ)**と呼びます。画面にタッチしてシャッターを切ると、わずかに動いて手ブレが発生することがあります。スマート トリガは、この揺れが治まって安定してから写真を撮ります。

ボリュームトリガ: この機能では、iPhoneのボリューム コントロール ボタンを押すだけで写真を撮ることができます。ボリュームトリガには、さらに、イヤホン (ヘッドホン) のボリュームコントロール ボタンをシャッターボタンとして使うオプションもあり、iPhoneに触らずに、腕の長さ (イヤホンのコードの長さ) の位置でシャッターを押すこともできます。ボリュームトリガは、アプリの設定の一般オプションでオンとオフを切り替えられます。



ボリュウムトリガ

プロカメラ3.5 はすでに革新的な手ブレ防止テクノロジーを搭載していますが、ボリュウム トリガのイヤホン（ヘッドホン）のボリュウムコントロール ボタンを使用すると、写真を撮るときに誰でもが経験する共通の問題、つまり、手が安定しない問題を低減するか、なくすことができません。上 (+) と下 (-) のどちらのボリュウム ボタンを押しても写真を取れます。イヤホン（ヘッドホン）のボリュウムコントロール ボタンを使って写真を撮影することのもうひとつの利点はシャッターの音が聞こえないことです。シャッターを切るときのクリック音は、イヤホンを通してしか聴こえません。

写真の保存: プロカメラは、バックグラウンドで写真を保存します。写真の保存中には、シャッターボタンが赤い点を示します。ただし、連続して次の写真を撮るか、[スリープ/ウェイク] ボタンを押して、iPhoneをロックすることもできます。画像はバックグラウンドで継続的に保存されます。

注: iPhone 3GはiOSマルチタスク機能を利用できないので、写真が正しく保存されない可能性があるためシャッター ボタンが赤い点を示しているときに、アプリを終了したり、ホーム ボタンをクリックしないでください。終了すると、iPhoneがしばらく振動します。写真が間違いなく保存されるように、終了の確認を待ってからプロカメラを終了してください。

QuickFlickアルバム : この機能によって、iDevice上の写真やビデオ全部にすぐに簡単にアクセスできます。画像上で左から右へとフリックするだけで、最近とった写真やiDeviceの写真アルバム中のどの写真やビデオでも表示、編集、共有ができます。

写真を表示するときに、次のQuickFlick機能が使えます :

- **ダブルタップ**でズームインまたはズームアウト。
- **2本指でピンチ**して、ズームインまたはズームアウト。
- 写真を横方向で表示させるには、iDeviceを**回転**します。
- 写真をEメールで送ったり、ソーシャルネットワークでシェアするには、下のツールバー上の左側の**エクスポート** アイコンをタップします。
- 時間、日付、サイズ、場所など、選択した画像の情報を見るには、画面下のツールバーの中央にある **[Info (情報)]** ボタンをタップします。
- 右下の**メニュー** アイコンをタップすると、プロカメラの写真編集スタジオで写真を編集できるようになります。

ソーシャル ネットワーク上での共有： お気に入りのソーシャル ネットワークに写真をアップロードするには、写真を選択して左下のエクスポート アイコンをタップし、メニューから【共有】を選択します。共有画面上で、写真のアップロード先のソーシャル ネットワークのサイトをいくつか選択します。現在、プロカメラは、Dropbox、Facebook、Flickr、Twitterをサポートしています。この機能をはじめて使う場合、使いたいソーシャル ネットワーク サイトにログインする必要があります。プロカメラはこの情報を安全に保存し、いかなる場合でもあなたの情報を誤用したり共有したりすることはありません。ソーシャル ネットワークによっては、次のことが可能です：

- 写真を並べ替えるためのフォルダーの選択や追加
- コメントやツイートの追加。
- プライバシーの設定
- ジオタグ

サイトとオプションを選択し終わったら、【共有】ボタンをタップします。プロカメラは、アップロードの進行状況を示し、写真のアップロードに成功したことを確認します。アップロード中にアプリを終了できます。インターネットへの接続速度が遅すぎるためにアップロードを完了できなかった場合、プロカメラはこれを通知し、アップロードを再開して、アプリを開いたままにしておくように指示します。（iOSは10分後にバックグラウンド タスクを自動的にキャンセルします。）



写真情報（EXIF/マップ表示）：EXIFとは、Exchangeable Image Fileデータのことです。

プロカメラが写真の全EXIF データ（日付、時刻、場所、露出、アパーチャ、ISOなど）を保存するため、アルバムから希望の写真を選択して [Info（情報）] ボタンをタップすると、全データを表示させることができます。[Pro（プロ）] タブは、画像中に情報がある場合は、画像のサイズ、日付、時刻、カメラ情報、撮影場所をすぐに表示します。[上級者] タブをタップすると、画像内にある利用可能なすべてのEXIFデータを見ることができます。写真を撮影した場所を見るには、[マップ] をタップします。マップ表示では、標準と航空写真の間で切り替えることができます。

位置情報（GPS）データといっしょにコンパス方向データが付いている写真では、プロカメラは、カメラが向いていた方向を表示します（プロカメラ独自の機能）。赤い点をタップすると、デバイスのMapsアプリ内に、写真の撮影場所が表示されます。Mapsアプリ内で、Googleストリートビューを使ったり、写真が撮影された正確な場所への道筋を示すことができます。これは、プロカメラを使って撮影した写真を利用して、自分の車が通った場所や面白い場所を見つけるためにたいへん便利です。

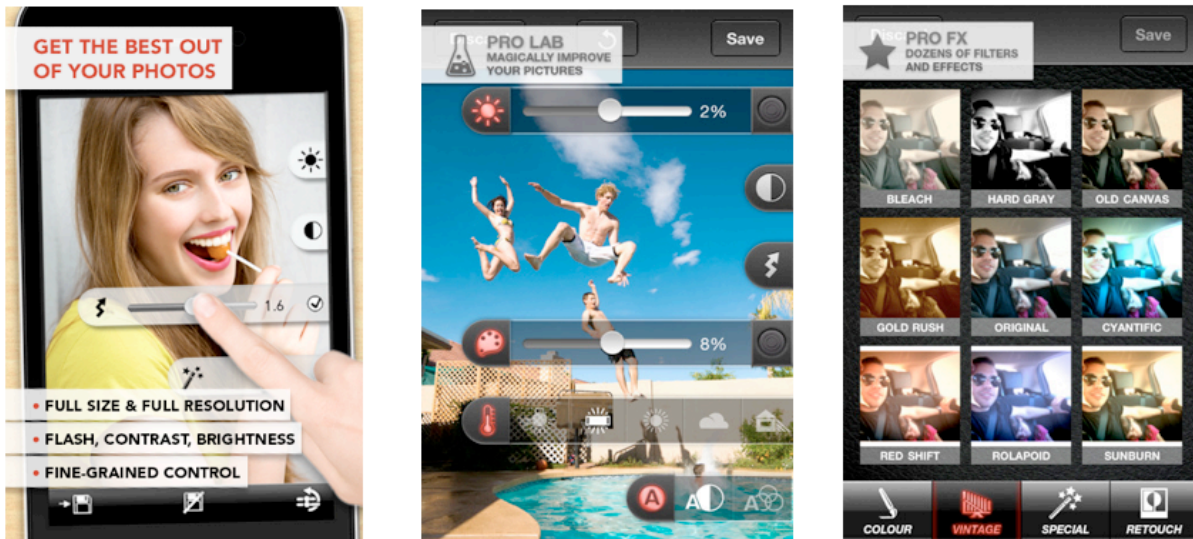
写真編集スタジオ:

Pro Lab Studioでは、明度、彩度、コントラスト設定を調整して、写真を修正することができます。基本的な調節をすばやく実行するための自動コントラストと自動色ツールもあります。スライダーを使って、明度、コントラスト、露出、彩度を調整します。スライダーの左側のボタンをタップすると、調節のオン・オフをすばやく切り替えられます。白熱電球、蛍光灯、日光、曇り空、影の下で撮った写真を補正するために色温度ツールを使えます。ツールバーから設定をオンやオフに切り替えることができます。

Pro Cut Studioを使って手動で写真をクロップしたり、まっすぐにしたり、回転できます。写真をクロップするには、クロップ用の四角のハンドルを移動します。画面上をダブルタップして、クロップをリセットします。クロップの制約ツールを使って、あらかじめ設定されたアスペクト比から選択します。タップして、アスペクト比を選択します。クロップを90°回転させるには、もう一度タップします。制約を無効にするには、もう一度タップします。[Straighten（斜め補正）] ツールのスライダーを使って、画像を1° ずつ回転させます。スライダーの左側のボタンをタップすると、調節のオン・オフをすばやく切り替えられます。Flip & Rotate（反転&回転）ツールバーから、画像をどちらの方向にでも、90° ずつ回転できます。このツールを使って、画像を縦方向または横方向に反転します。

Pro FX Studioには、さまざまなワンクリックのフィルターや4つのカテゴリーに分けたエフェクトのプリセットが用意されており、選択するだけで簡単に適用できます。

Pro Labと**Pro FX Studios**では、上部ツールバーの中央の矢印ボタンをタップして、結果を元の写真と比較できます。写真の修正が終わったら、[保存]をタップします。編集済みの写真は、カメラロールに新しいファイルとして保存されます。元の写真は変更されずに、カメラロール中に残ります。



マルチタスク： プロカメラは、最新のiOSのバックグラウンド処理とマルチタスク機能に対応しています。プロカメラを使った後で、アプリのロードを待たずにいつでもすばやく元に切り替えることができます。プロカメラのホーム画面やアプリ ドロワーからもう一度アプリを開くと、すぐに写真やビデオを撮影する準備ができています。

プロカメラのiOS 4タスク完了サポートによって、写真の保存中にアプリを終了しても写真が失われることはありません。すべての写真は、デバイスのカメラロールに自動的に保存されます。これによって、バージョンの混乱を防ぎ、コンピュータへの写真の転送が容易になります。

設定：

写真モード オプション

手ブレ防止: 写真モード オプションのスライダーを使って、[手ブレ防止]の感度を変更できます。揺れがあってiPhoneを安定させられないような場合に、スライダーを右に動かして感度を下げます。iPhoneが比較的安定している場合に、スライダーを左に動かして手ブレ防止の感度を上げます。

Self-Timer Clock (セルフタイマー時計): 0.5秒~20秒後にシャッターが切れるようにプロカメラのセルフタイマーをセットします。

上級者モード: 上級者モードを有効にして、フォーカスと露出を個別にコントロールし、ホワイトバランスロック機能を使って色温度を調整できるようにします。これらの機能は写真モードとビデオモードのどちらにでも使用できます。

RapidFire連続撮影: プロカメラのRapidFire機能では、シャッターボタンを長押しするだけで、フル解像度の写真を短い間隔ですばやく連続に撮影できます。保存に必要なスペースを減らし、アップロードの速度を上げるために、[設定]メニュー(LQ Highspeedモード)で低解像度(640x480)を選択してください。RapidFireモードと合わせて、超高速の連続撮影ができます。RapidFireは、自動保存モードが有効になっているときにだけ機能します。[自動保存]では、撮影している間にバックグラウンドで写真を保存するため、写真の連続撮影が可能になります。保存するか消去するかを決めるために写真をプレビューするには、プロカメラの設定で[自動保存]をオフにしてください。

高速モード: オンにすると、保存と共有の速度を上げるために、写真は低解像度(640x480)で撮影されます。シャッターボタンは、カメラがUltraSpeedモードのときに、LQを表示します。RapidFireモードと合わせて、超高速の連続撮影ができます。

写真ズーム: 写真のズームをオンやオフにします。ズームなしの画像は、ズームした画像に比べ、5倍の速さで保存されます。

タイムスタンプ: 写真画像の左下に写真撮影時の日付、時刻、時間帯を書き込むかどうかを設定します。

自動保存: カメラロールに全部の画像を自動的に保存するには、[自動保存]をオンにします。撮影する度に画像をプレビューしてカメラに保存するか削除するかを決めることができるようにするには、自動保存をオフにします。

全画面シャッター: ビューファインダー上をどこでもタップするとすぐに写真が撮れるようにするには、全画面シャッターをオンにします。手ブレ防止キャプチャを使用しているときに、ビューファインダー上をどこでもタップして写真を撮影できるようにするには、全画面シャッターと手ブレ防止の両方をオンにします。全画面シャッターを使

用しているとき、希望の位置でタップしホールドして、フォーカスと露出を設定する必要があります。全画面シャッターがオフのとき、ワンタップでフォーカスと露出を設定できます。

ビデオ モード オプション

ビデオ フォーカス モード: ビデオの録画中にフォーカスを自動的に調節するには、連続フォーカスをオンにします。フォーカスをロックしたり、ビデオの録画中にフォーカスを手動で調節するには、連続フォーカスをオフにします。

ビデオ ズーム: デバイス背面のカメラの（デバイスに搭載されている場合は前面のカメラも）6X Video Zoom（6倍ビデオ ズーム）をオンにします。非ズーム画像は、ズーム画像よりはるかに高速で保存されます。ビデオ ズームでは、高画質でレンダリングするためにポストプロセス時間が必要です。HDビデオ ズームでは、1分間分の録画ビデオに対してほぼ50秒間のポストプロセス時間が必要です。

HD Video Preview 16:9（HDビデオ プレビュー16:9）: ビューファインダー内にフルの16:9アスペクト比で正確なHDビデオ プレビューを表示します。ビューファインダー内に黒い帯を表示して、ビデオ フレーム全体を表示させます。HDビデオ プレビューをオフにすると、プレビュー画像が、黒い帯なしで画面いっぱいに表示されます。この設定は、ビューファインダーでのプレビューにだけ有効です。録画されたビデオには影響しません。

上級オプション

グリーン モード: グリーン モードをオンにすると、バッテリーを節約できます。iOSで設定した時間が過ぎると、デバイスが省エネ モードに入ります。さらに、バッテリーを節約するような方法でGPSを利用しています。

Direct Photo/Video Toggle（写真・ビデオ直接切り替え）: ワンタップによる写真とビデオの切り替えを有効にします。これがオンになっていると、メニューを開いてQRコード スキャナにアクセスするためには、オンスクリーンの写真/ビデオ切り替えボタンを長押しする必要があります。

仮想水平軸の較正: プロカメラの [仮想水平軸] は、撮影中にiPhoneがまっすぐに保持されるように補助します。これを較正するにはiPhoneを水平面に置いて、[カリブレーション] ボタンをタップします。iPhoneを縦にして、同じことを、縦向き、右横向き、左横向きについて繰り返します。

Copyright (EXIF): 写真やビデオのメタデータ (EXIF) に自分の著作権情報を追加できます。